

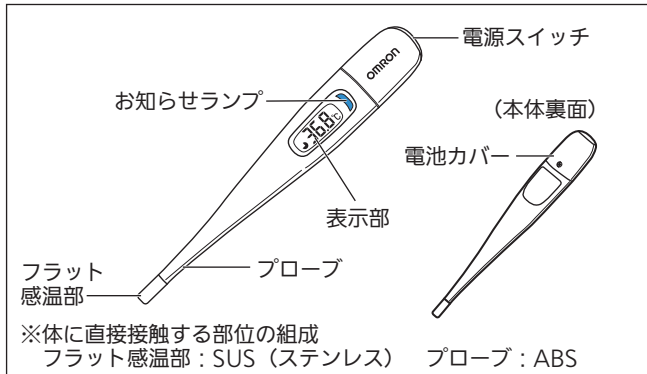
機械器具16 体温計
管理医療機器 電子体温計 14032010
オムロン 電子体温計 MC-687

【禁忌・禁止】

- ・検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。
〔自己診断は、病気が悪化する原因になります。〕
- ・人の体温測定以外に使用しないでください。
〔動物などを無理に測ろうとすると、暴れてけがをする原因になります。〕
- ・乳幼児の手の届かないところに保管してください。
また、お子様だけのご使用はさけてください。
〔自分で無理に測ろうとしてけがをする原因になります。〕

【形状・構造及び原理等】

1. 主要部の形状と名称



2. 構成

付属品

- | | |
|----------------------------------|----|
| リチウム電池CR1220（お試し用） | 1個 |
| 収納ケース | 1個 |
| 取扱説明書（医療機器添付文書・品質保証書・EMC 技術資料付き） | 1部 |

3. 本体寸法及び重量

- | | |
|------|--------------------------------|
| 外形寸法 | ： 20.1(幅)×136.8(長さ)×12.8(厚さ)mm |
| 質量 | ： 約14 g（電池含む） |

4. 電気的定格

- | | |
|------|-------------------------|
| 電源 | ： リチウム電池CR1220×1個（DC3V） |
| 電撃保護 | ： 内部電源機器 BF形装着部 |
| 消費電力 | ： 0.01 W |

5. 作動・動作原理

本製品は、サーミスタの抵抗変化を利用して温度を検出し、測定開始から約15秒後に予測値を、それ以降は、実測値の最高温度を0.1℃単位で表示する電子体温計である。
測定中は、測定開始から約15秒後に予測検温が終了した事を知らせるブザーが鳴る。測定をそのまま続けると、予測検温開始後から約10分後に実測検温終了のブザーが鳴る。

＊6. 性能及び安全性に関する規格等

- | | |
|--------------|---|
| (1) 最高温度保持機能 | ： 実測した最高温度値を保持し一定時間表示する |
| (2) デジタル表示 | ： 実測した体温をデジタル表示する |
| (3) 最大許容誤差 | ： 一般用 ±0.1℃（32.0～42.0℃）
※標準室温23℃にて恒温水槽で実測測定した場合
※試験は JIS T 1140：2024による |
| (4) 電源電圧 | ： 試験前後の温度表示の差：一般用 ±0.2℃
※試験は JIS T 1140：2024による。 |
| (5) 防 浸 | ： 試験1回目と2回目及び1回目と3回目の温度表示値の差：一般用 0.1℃以下
※試験は JIS T 1140：2024による。一部防浸形に適合。 |
| (6) 測温範囲 | ： 一般用 32.0～42.0℃ |
| (7) 最小表示単位 | ： 一般用 0.1℃ |
| (8) 測定範囲外告知 | ： 32.0℃未満のとき「L」を表示、42.0℃を超過するとき「H」を表示 |
| (9) 感 温 部 | ： サーミスタ |
| (10) 測定方式 | ： 予測・実測（ピークホールド方式） |
| (11) 体温表示 | ： デジタル表示3桁+℃表示、0.1℃毎 |
| (12) 使用環境条件 | ： +10～+40℃/30～85%RH |

【使用目的又は効果】

測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

【使用方法等】

- (1) 電源スイッチを押して電源を入れます。
- (2) 表示部が「検温準備完了表示」になっていることを確認します。
- (3) 感温部をわきに挿入し、密着させます。
- (4) 予測検温を終了するまで、本体を保持します。
- (5) 予測検温終了のブザー音で、予測検温結果を確認します。
- (6) 予測検温のみの場合は、電源スイッチを押して電源を切ります。実測検温の場合はそのまま検温を続けます。
- (7) 予測検温開始から約10分で測定が終了しブザー音が鳴ります。
- (8) 実測検温結果を確認し、電源スイッチを押して電源を切ります。
・詳細については取扱説明書をよくお読みください。

【使用上の注意】

- (1) わき以外で検温しないでください。
- (2) 連続して検温しないでください。一度電源を切り、30秒以上間隔をあけてから、測り直してください。
- (3) 検温中、感温部を検温する部位に密着させるように固定し、空隙はつくらないようにしてください。また、大幅に動かさないでください。
- (4) 電池の電圧が低下すると電池交換マークが表示されますので電池を取り替えてください。
- (5) 運動や入浴後は、30分以上あけてから検温してください。
- (6) 飲食後は、30分以上あけてから検温してください。
- (7) 起床直後の行動開始時期は、比較的激しく体温が上昇しますので、30分以上あけてから検温してください。
- (8) わきの下が汗ばんでいるときは、わきの下を乾いた布で数回拭いてから検温してください。
- (9) 感温部およびプローブは防浸ですが、それ以外(表示部など)は防浸ではありません。本体を水につけないでください。
- (10) 感温部を強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- (11) 電池やねじ、電池カバーは乳幼児の手の届かないところに置いてください。
- (12) 周囲温度は10～40℃の範囲で使用してください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- (1) 次のようなところに保管しないでください。
 - 1) 水のかかるところ。
 - 2) 高温・多湿、直射日光、ほこり、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
 - 3) 傾斜、振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
 - 4) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。
- (2) 保管環境条件：－20～+60℃/10～95%RH

2. 耐用期間

標準的な使用期間：5年〔自己認証（当社データ）による〕

【保守・点検に係る事項】

- (1) 故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様サービスセンターにご連絡ください。
- (2) 勝手に改造しないでください。
- (3) 本製品に水や化学薬品をかけないでください。
- (4) 本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- (5) 汚れがひどいときは、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかく絞って拭き取った後、やわらかい布でから拭きしてください。
- (6) 消毒する場合は、消毒用アルコール綿で2～3回拭き取ってください。

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

製造販売元：オムロンヘルスケア株式会社
電話：0120-30-6606
(オムロン お客様サービスセンター)

取扱説明書を必ずご参照下さい。